

4月のコラム ～出会いが人生をつくる

就職、異動、進学、新学期、新しい趣味・・・4月は、新しい出会いが多い時期です。十年前、私も新卒でした。入社してすぐ、会社の合唱団に入ったのですが、ごく最近、先輩が「むかし神戸川鉄合唱団」というライングループを作ってくれました。全盛期だったころのOB・OGは一回りほど年上。既にリタイヤされておられますが、孫の世話を始め趣味やボランティア、社会貢献と多種多様な活躍の報告がたくさん届きます。会社にはたった4年弱の在籍だったのですが、解散したあとも演奏会を企画するなど、途切れ途切れながらも繋がりは続き・・・あの頃20歳の私も還暦を超えましたが、一番下っ端の立ち位置が変わらないのがいいです。

人生の転機や新しいことを始める時には、必ずキーマンとの出会いがありますよね。学生時代にコーラスをやっていたわけでもないのに、会社の合唱団に入ったのは、勧誘してくださった先輩がとても魅力的だったから。いつも元気で明るく本当に輝いていて・・・「どうしたらあんな風になれるのだろうか？」もっと近づいてそのわけを知りたいと思いました。

社労士としての初仕事は、もっと積極的（必死）。恥ずかしながら友人にお金を貸しており、その子が自己破産をしたのですが、弁護士から届いた債権確認通知の封筒に社労士の名前が・・・共同事務所をされている？資格はとったものの右も左もわからない世界。「こんなところに社労士がいた！」後は、押しかけ事務員です。数か月ですが、無理やり手伝いをさせてもらいました。おかげで社労士がどんな仕事をしているのかもわかり、色々な勉強会や諸先輩方も紹介してもらい、この仕事をやっていけるという見通しがつきました。

コーチングを始めたときも、参加したセミナーの講師に「あっ、この人だ！」と一目で心惹かれ、速攻でアポをとり教を請いました。コーチにはなりませんでしたが、その方が構築された研修プログラム、理念は社労士として関わる会社の組織づくりや社員研修等の核になっています。

簿記の資格をとったのも婦人移動大学という公的な職業訓練機関で出会った簿記の先生が、すごく魅力的だったから。超ショートカットヘアがお似合いで3人目のお子さんを身ごもりながら教壇に立たれる姿は、当時主婦だった私のあこがれの的でした。

思い起こせばきりがないくさんの素敵な出会いの積み重ねで今の私があります。人生を楽しくする秘訣は、自分にとって大切な出会いを見逃さずキャッチすることだとの確信を持って言えます。願わくば、出会ってよかったと人に思ってもらえるような自分でありたいのだけれど・・・まだ、人生は長い？がんばろう！

活動的になれる春。コロナで出会いが減っていますが、どうかいいご縁を大切に！

2022年4月 水田かほる